

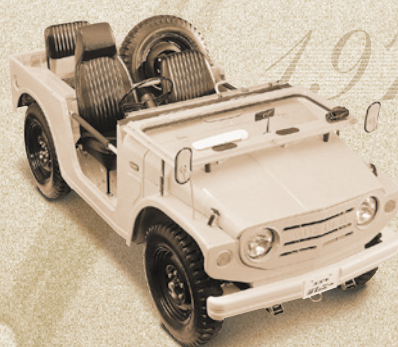
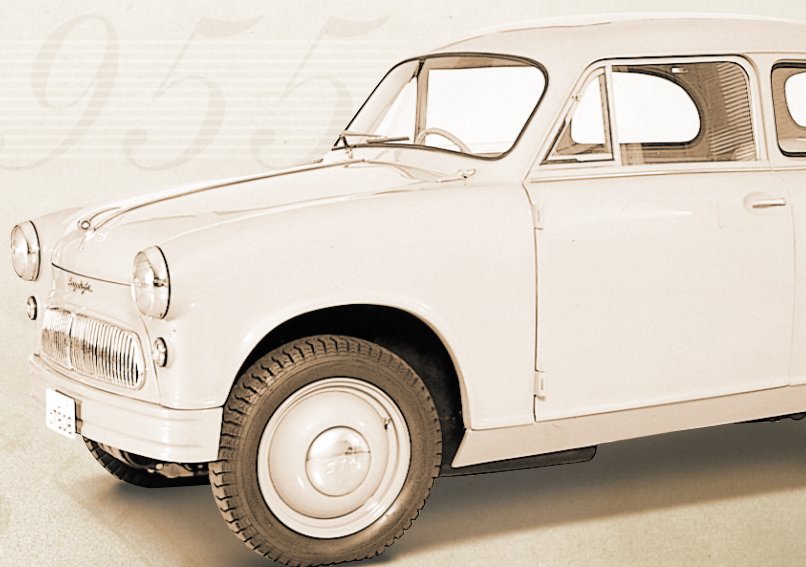
| 広 | 報 | 資 | 料 |

スズキ軽自動車年表

Suzuki Mini Vehicle Chronology

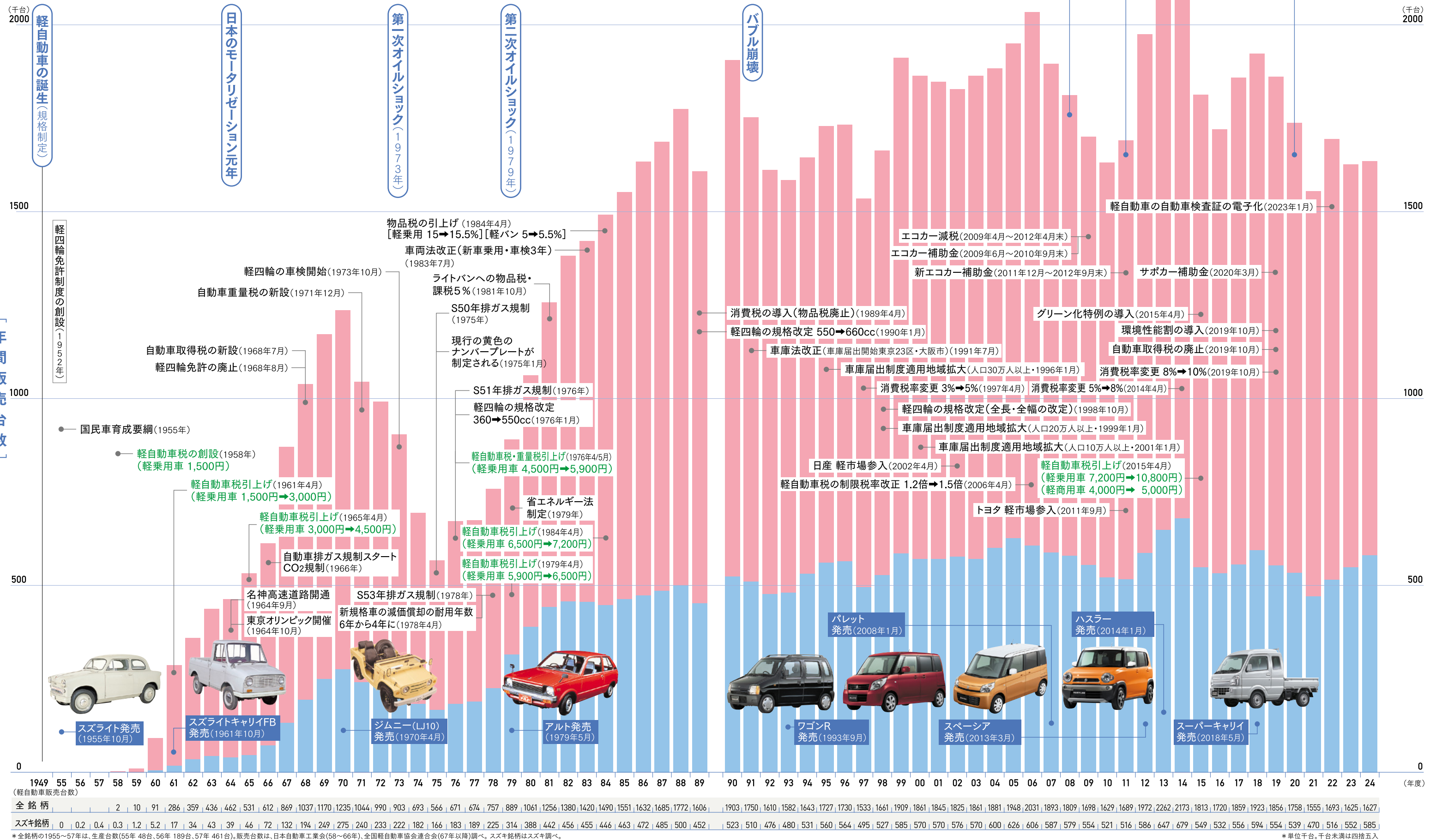
日本で、世界で、人と社会に貢献する軽自動車

2025年版



1986

軽自動車市場の変遷



[illegible]

スズライト、フロンテ、フロンテクーペ

1954年	1月	●	軽四輪自動車の研究開始		
	9月	●	最初の試作四輪車完成		
1955年	10月	●	スズライト 発売 (2サイクル・360cc・セダンSS、ライトバンSL、ピックアップSP)		
1959年	7月	●	スズライトバンTL生産開始		
1962年	3月	●	スズライトバンTLを一部改良		
	3月	●	スズライトフロンテTLA 発売(初代)		
1963年	4月	●	スズライトバンFE 発売		
	5月	●	スズライトフロンテFEA 発売		
	5月	●	第1回日本グランプリレース(軽自動車部門) スズライトフロンテ 1, 2, 4, 8位		
1965年	4月	●	スズライトバンFEマイナーチェンジ 新しいエンジンの分離潤滑方式CCI方式を採用 スズライトフロンテFEA II 発売		
1967年	5月	●	フロンテ360 発売(2代目)		
1968年	8月	●	フロンテSS360「太陽の道」(ミラノ〜ナポリ間)を完走		
	11月	●	フロンテSS360 発売		
1969年	3月	●	スズライトバンFEをフロンテバン360にフルモデルチェンジ		
	3月	●	フロンテSS360アジアハイウェイ走破		
	7月	●	フロンテエステート(3ドアセダン) 発売		
	7月	●	フロンテ360にオートクラッチ付追加発売		
1970年	6月	●	フロンテ360 累計生産30万台達成		
	11月	●	フロンテ71(セブティワン) 発売(3代目)		
1971年	5月	●	フロンテ71W 発売		
	9月	●	フロンテクーペ 発売		
	11月	●	72フロンテ 発売		
1972年	2月	●	フロンテクーペ4シーター追加発売		
1973年	4月	●	フロンテハッチ 発売		
	7月	●	フロンテ フルモデルチェンジ(4代目)		
1976年	5月	●	フロンテ360 50年排出ガス規制適合車発売		
	6月	●	フロンテ7-S(450cc) 発売		
	7月	●	フロンテハッチ55 発売		
1977年	5月	●	53年排出ガス規制適合車フロンテ7-S(2サイクル・443cc) 発売		
	6月	●	フロンテ7-S(4サイクル・550cc) 発売		
1979年	5月	●	フロンテ フルモデルチェンジ(5代目)		
1984年	9月	●	フロンテ フルモデルチェンジ(6代目)		
1988年	9月	●	フロンテ フルモデルチェンジ(7代目)		

アルト

1979年	5月	●	アルト 発売(初代) 「全国统一価格47万円」で発表。大ヒットとなる		
1980年	5月	●	アルトにAT車追加		
1981年	10月	●	アルト マイナーチェンジ(4サイクル車追加)		
1983年	10月	●	アルトに4WD追加		
1984年	9月	●	アルト フルモデルチェンジ(2代目) 日本初の回転ドライバーズシート採用		
1985年	3月	●	アルト特別仕様車「麻美スペシャル」 発売		
	6月	●	アルト 国内累計販売100万台達成		
	8月	●	アルト 5ドア 発売		
	9月	●	アルトターボ 発売		
1986年	7月	●	アルトツインカム車 発売		
	10月	●	アルト コラムAT車「アルトレジーナ」 発売		
1987年	1月	●	アルトワークススルーバン 発売		
	2月	●	アルトワークス 発売(初代) 軽初のツインカムターボエンジン搭載		
1988年	9月	●	アルト フルモデルチェンジ(3代目) スライドスリムドア採用車を設定 アルトワークス フルモデルチェンジ(2代目)		
1989年	7月	●	アルト 国内累計販売200万台達成		
1990年	3月	●	アルト、アルトワークスの新規格車 発売 エンジン排気量が660ccとなった新規格車		
1991年	11月	●	アルトハッスル 発売		
1994年	8月	●	アルト 国内累計販売300万台達成		
	11月	●	アルト フルモデルチェンジ(4代目)、 アルトワークス フルモデルチェンジ(3代目)		
1995年	3月	●	アルト 低燃費車Sv追加(10・15モード燃費26.5km/L)		
1998年	10月	●	アルト フルモデルチェンジ(5代目) 軽量ボディーと新開発リーンバーンエンジンにより29km/L(10・15モード)を実現 アルトワークス フルモデルチェンジ(4代目)		

アルト、アルト ラパン

2002年ー 1月 ● アルト ラパン 発売(初代)

9月 ● 「アルト ラパン モード」 発売

10月 ● 「アルト ラパン ターボ」 発売

12月 ● 「助手席回転シート車」 発売

2003年ー 9月 ● アルト ラパンを一部改良し、「SS」「L」 発売

2004年ー 9月 ● アルト フルモデルチェンジ(6代目)

2008年ー11月 ● アルト ラパン フルモデルチェンジ(2代目)

2009年ー 5月 ● アルト30年 & 世界累計販売台数1000万台達成特別記念車発売

12月 ● アルト フルモデルチェンジ(7代目)

2010年ー 8月 ● アルト ラパンを一部改良し、発売(全機種エコカー減税対象)

2011年ー12月 ● アルト エコ 発売
30.2km/L*を達成

2012年ー 6月 ● アルト一部仕様変更(全機種エコカー減税対象)

2013年ー 6月 ● アルト ラパン ショコラ 発売/アルト ラパン一部改良

12月 ● 35.0km/L*を達成したアルト エコ発売

2014年ー12月 ● アルト フルモデルチェンジ(8代目)
37.0km/L*を達成

2015年ー 3月 ● アルト ターボRS 発売

6月 ● アルト ラパン フルモデルチェンジ(3代目)

11月 ● アルト/アルト ラパンが2016年次 RJCカー オブ ザ イヤーを受賞

12月 ● アルト/アルト ターボRS/アルト ラパンが2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー「スモールモビリティ部門賞」を受賞

12月 ● アルト ワークス 発売(5代目)

2016年ー12月 ● アルト国内累計販売500万台達成

2019年ー 6月 ● アルト40周年記念特別仕様車 発売

2021年ー12月 ● アルト フルモデルチェンジ(9代目)

2022年ー 6月 ● アルト ラパンを一部仕様変更、アルト ラパン LC発売

2024年ー11月 ● 初代「アルト」が2024年日本自動車殿堂の「歴史遺産車」に選定



ワゴンR

1993年ー 9月 ● ワゴンR 発売(初代) 発表当初より大ヒット

12月 ● ワゴンRが軽として初の「'93-'94 RJCニュー・カー・オブ・ザ・イヤー」受賞

1995年ー 2月 ● ワゴンRインタークーラー・ターボ車追加

1996年ー10月 ● ワゴンR、発売後3年2ヶ月で国内累計販売台数50万台達成

12月 ● 福祉車両としてワゴンR車いす送迎車 発売

1998年ー 1月 ● 特別仕様車「RR(ダブルアール)」発売

10月 ● ワゴンR フルモデルチェンジ(2代目)

1999年ー 3月 ● ワゴンR、発売後5年7ヶ月で国内累計販売100万台達成

2003年ー 9月 ● ワゴンR フルモデルチェンジ(3代目)

12月 ● ワゴンR、発売後10年4ヶ月で国内累計販売台数200万台達成

2007年ー 2月 ● ワゴンRスティングレー 発売(初代)

2008年ー 6月 ● ワゴンR国内累計販売台数5年連続No.1 & 300万台達成記念特別仕様車「ワゴンR リミテッド」発売「ワゴンRスティングレー リミテッド」発売

9月 ● ワゴンR フルモデルチェンジ(4代目)、ワゴンRスティングレー フルモデルチェンジ(2代目)

2009年ー11月 ● ワゴンR/ワゴンRスティングレーが2009年次 RJCカー オブ ザ イヤーを受賞

2010年ー 8月 ● ワゴンR、ワゴンRスティングレー 一部改良 アイドリングストップシステム搭載車を設定

11月 ● 国内累計販売350万台達成を記念し特別仕様車ワゴンR リミテッド、ワゴンRスティングレー リミテッドを発売

2012年ー 9月 ● ワゴンR フルモデルチェンジ(5代目)、ワゴンRスティングレー フルモデルチェンジ(3代目)

2013年ー 7月 ● ワゴンR一部改良 クラストップの低燃費、先進安全技術を搭載した、特別仕様車「20周年記念車」を設定

9月 ● ワゴンR、発売20年で国内累計販売400万台達成

2014年ー 8月 ● ワゴンR、ワゴンRスティングレーに「S-エネチャージ」を搭載

2017年ー 2月 ● ワゴンR フルモデルチェンジ(6代目)、ワゴンRスティングレー フルモデルチェンジ(4代目)マイルドハイブリッドを搭載

2018年ー 8月 ● ワゴンR25周年記念車 発売

2021年ー 9月 ● ワゴンRスマイル 発売

2022年ー 8月 ● ワゴンR カスタムZ 発売

2023年ー 7月 ● ワゴンR スマイル一部仕様変更、特別仕様車「HYBRID Sリミテッド」発売

2023年ー11月 ● ワゴンRシリーズ国内累計販売500万台達成

2025年ー 5月 ● ワゴンR スマイル特別仕様車「クリームコーデ」発売



パレット、スペース

- 2008年ー 1月 ● **パレット 発売**
- 12月 ● パレット特別仕様車「Gリミテッド」発売
- 2009年ー 9月 ● **パレットSW 発売**
- 2010年ー 8月 ● パレット、パレットSW一部改良 パレットにターボ機種を設定
- 11月 ● パレット、パレットSWに特別仕様車「リミテッド」設定
- 2011年ー11月 ● パレット、パレットSWに特別仕様車「リミテッドII」設定
- 2012年ー 6月 ● パレット、パレットSWにアイドリングストップシステム搭載車を設定
- 2013年ー 3月 ● **スペース 発売(初代)**
- 6月 ● **スペース カスタム 発売(初代)**
- 9月 ● スペース、スペース カスタムにレーダーブレーキサポート装着車を設定
- 11月 ● スペース、スペース カスタムが
2013-2014 日本カー・オブ・ザ・イヤー スモールモビリティ部門賞を受賞 🏆
- 2014年ー 6月 ● スペースXリミテッド スペース カスタムXSリミテッド 発売
- 2015年ー 5月 ● スペース、スペース カスタムに軽自動車初となるステレオカメラ方式の
衝突被害軽減システムを搭載
- 8月 ● スペース、スペース カスタムのターボ車にS-エネチャージを搭載
- 2016年ー12月 ● **スペース カスタムZ 発売**
- 2017年ー12月 ● **スペース フルモデルチェンジ(2代目)**
スペース カスタム フルモデルチェンジ(2代目)
- 2018年ー12月 ● **スペース ギア 発売**
- 2021年ー 4月 ● スペース 国内累計販売台数100万台を達成
- 2021年ー12月 ● スペース、スペース カスタム、スペース ギア一部仕様変更、「スズキコネクト」に対応
スペース ギアに特別仕様車「MY STYLE」を設定
- 2022年ー 8月 ● **スペース ベース 発売**
- 2023年ー11月 ● **スペース フルモデルチェンジ(3代目)**
スペース カスタム フルモデルチェンジ(3代目)
- 2024年ー 9月 ● **スペース ギア フルモデルチェンジ(2代目)**



Kei、ハスラー

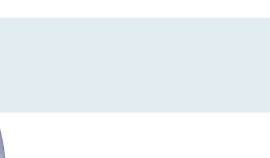
- 1998年ー10月 ● **Kei 発売**
- 1999年ー 2月 ● Kei特別仕様車リミテッド 発売
- 3月 ● **Kei 5ドア 発売**
- 5月 ● スポーツ仕様の特装車「Kei スペシャル」 発売
- 12月 ● Kei特別仕様車 Xリミテッド 発売
- 2000年ー 5月 ● Keiスズキ創立80周年記念車 発売
- 10月 ● Keiを一部改良、Keiスポーツ 発売
- 11月 ● 国際スキー連盟「FIS」とタイアップした特別仕様車
「Kei FISフリースタイルワールドカップリミテッド」 発売
- 12月 ● 「Kei 21世紀記念スペシャル EX」 発売
- 2001年ー 4月 ● Keiを一部仕様変更、カスタマイズ感を演出した個性的な「Kei DJ」 発売
- 4月 ● モータースポーツ参加の入門車「KeiスポーツR」 発売
- 2002年ー 1月 ● 国際スキー連盟「FIS」とタイアップした特別仕様車
「Kei FISフリースタイルワールドカップリミテッド」 発売
- 5月 ● Kei特別仕様車「Eリミテッド」 発売
- 11月 ● **Kei「ワークス」 発売**
- 2005年ー 5月 ● Kei特別仕様車「A スペシャル」「Bターボ スペシャル」 発売
- 2014年ー 1月 ● **ハスラー 発売(初代)**
- 10月 ● ハスラーが2014 - 2015年次 日本自動車殿堂カー オブ ザ イヤーを受賞 🏆
- 11月 ● ハスラーが2015年次 RJCカー オブ ザ イヤーを受賞 🏆
- 12月 ● RJC カー オブ ザ イヤー受賞記念 ハスラー特別仕様車「J STYLE」 発売
- 2015年ー 5月 ● ハスラーにS-エネチャージを搭載して発売
- 12月 ● ハスラーを一部改良、特別仕様車「J STYLE II」 発売
- 2016年ー12月 ● ハスラー特別仕様車「Fリミテッド」 発売
- 2017年ー12月 ● ハスラー特別仕様車「FリミテッドII」、ハスラー特別仕様車「J STYLE III」 発売
- 2018年ー 7月 ● ハスラー特別仕様車「タフワイルド」 発売
- 11月 ● ハスラーを一部仕様変更、特別仕様車「ワンダラー」 発売
- 2020年ー 1月 ● **ハスラー フルモデルチェンジ(2代目)**
- 11月 ● ハスラー特別仕様車「J STYLE」 発売
- 2022年ー 5月 ● ハスラーを一部仕様変更、特別仕様車「J STYLE II」 発売
- 2024年ー 5月 ● ハスラーを一部仕様変更、**ハスラー タフワイルド発売**



セルボ、マイティボーイ、カプチーノ、キャラ、MRワゴン、ツイン

1977年ー10月	● セルボ 発売(初代)	
1982年ー 6月	● セルボ フルモデルチェンジ(2代目)	
1983年ー 2月	● マイティボーイ 発売 45万円の低価格と、ピックアップスタイルの個性的なスタイリングが特徴	
11月	● セルボ ターボ車追加 スズキ初のターボエンジン搭載車	
1988年ー 1月	● セルボ フルモデルチェンジ(3代目) 世界初、電動パワーステアリングを装着	
1990年ー 7月	● セルボ・モード フルモデルチェンジ(4代目)	
1991年ー11月	● カプチーノ 発売	
1993年ー 1月	● キャラ 発売	
1995年ー10月	● セルボ・モード マイナーチェンジ	
1996年ー 9月	● セルボC(クラシック) 発売	
2001年ー12月	● MRワゴン 発売(初代)	
2003年ー 1月	● ツイン 発売 軽自動車として初めてハイブリッドシステムを搭載	
2006年ー 1月	● MRワゴン フルモデルチェンジ(2代目)	
11月	● セルボ 発売(5代目)	
12月	● MRワゴン Wit 発売(初代)	
2007年ー 6月	● セルボ特別仕様車「G リミテッド」 発売	
10月	● 軽乗用車「セルボ」に上級グレード「SR」を設定して発売 日本初の「直噴(DI)ターボエンジン+CVT」を搭載	
2008年ー 5月	● 「セルボ」を一部改良	
2009年ー 5月	● 「セルボ」シリーズを一部改良して発売	
2011年ー 1月	● MRワゴン フルモデルチェンジ(3代目)	
2013年ー 7月	● MRワゴン Wit フルモデルチェンジ(2代目) シリーズ全機種に「エネチャージ」を搭載	

ジムニー

1970年ー 4月	● ジムニー(LJ10) 発売(初代) 空冷エンジン搭載ジムニー(LJ10) 発売(初代)	
1971年ー 1月	● ジムニーマイナーチェンジ(エンジン25馬力から27馬力に出力向上)	
1972年ー 5月	● 水冷エンジン搭載ジムニー(LJ20) 発売 水冷2サイクル2気筒リードバルブエンジン搭載 ジムニーバンを新機種として発売	
1975年ー 2月	● ジムニー 4人乗り(幌タイプ) 発売	
1976年ー 5月	● 軽新規格ジムニー55(SJ10)(550cc) 発売	
1977年ー 6月	● ニュージムニー55(SJ10) 発売 前後輪のトレッドを100mm拡大し外観デザインも変更	
1981年ー 5月	● ジムニー(SJ30) フルモデルチェンジ(2代目)	
1986年ー 1月	● ジムニーにEPIターボ車を追加するなどマイナーチェンジ SJ30型をマイナーチェンジし、4サイクル3気筒水冷F5A(ターボ付)エンジンを搭載したJA71型を追加	
1987年ー11月	● ジムニー550ハイルーフパノラマウインドー車追加	
1990年ー 3月	● 軽新規格ジムニー(JA11)(660cc) 発売	
1992年ー 7月	● ジムニーにAT車を設定	
1995年ー 2月	● 特別仕様車「ランドベンチャー」 発売	
11月	● ジムニーに軽乗用車仕様 発売(JA12/22) (これまでは全て商用車仕様)	
1998年ー10月	● ジムニー(JB23) フルモデルチェンジ(3代目) 本格的オフロード性能はそのままに、快適性を大幅に向上させフルモデルチェンジ	
2000年ー 3月	● ジムニーL 発売(ジムニーの2WD仕様車)	
2010年ー 4月	● 誕生40年記念車「X-Adventure」 発売	
2012年ー 5月	● 一部仕様変更、特別仕様車「X-Adventure」 発売	
2018年ー 7月	● ジムニー(JB64) フルモデルチェンジ(4代目) 20年ぶりのフルモデルチェンジ	
2020年ー11月	● 初代ジムニーが2020 日本自動車殿堂「歴史遺産車」に選定	

キャリイ

- 1961年ー10月 ● **スズライトキャリイFB 発売(初代)**
当時、軽四輪トラック最大の荷台面積、軽四輪車最高出力の21馬力、全国標準現金価格29.5万円で好評を博した
- 1965年ー 6月 ● **スズライトキャリイ(L20) フルモデルチェンジ(2代目)**
FB型のセミキャブ型式、広い荷台、力強いエンジンを踏襲しながら居住性の向上、乗用ムードを狙った。フロントサスペンションはウィッシュボーン型独立懸架とした
- 1966年ー 3月 ● **キャリイ(L30) フルモデルチェンジ(3代目)**
荷台の広いキャブオーバー型のトラック。コストをおさえた積載本位のタイプとして、L20型と並売された
- 1967年ー 1月 ● **キャリイ(L31) 発売**
- 1969年ー 7月 ● **キャリイ(L40) フルモデルチェンジ(4代目)**
L30型のモデルチェンジとして商品力を向上。フロントと共通の計器類で乗用車的ムードを出して、外観も特長的な角型ヘッドランプを採用
- 1972年ー 5月 ● **キャリイ(L50) フルモデルチェンジ(5代目)**
- 1976年ー 5月 ● **キャリイ55(ST10) 発売**
キャリイ55(ST10) 2サイクル3気筒水冷539ccエンジンを搭載
- 9月 ● **キャリイワイド(ST20) フルモデルチェンジ(6代目)**
- 1977年ー10月 ● **キャリイ国内累計販売100万台達成**
- 1979年ー 4月 ● **キャリイ(ST30) フルモデルチェンジ(7代目)**
- 1981年ー 7月 ● **キャリイ4サイクル車(ST40) 発売**
- 1985年ー 3月 ● **キャリイ(DA71) フルモデルチェンジ(8代目)**
- 1987年ー 6月 ● **キャリイ国内累計販売200万台達成**
- 1990年ー 3月 ● **キャリイの新規格車 発売**
- 1991年ー 9月 ● **キャリイ(DC51) フルモデルチェンジ(9代目)**
- 1996年ー 9月 ● **キャリイ、トラックとして初めて国内累計販売300万台達成**
- 1999年ー 1月 ● **キャリイ(DA52) フルモデルチェンジ(10代目)**
- 2010年ー 1月 ● **キャリイ国内累計販売400万台達成**
- 2011年ー10月 ● **50周年記念車 キャリイ KCリミテッド 発売**
- 2013年ー 9月 ● **キャリイ(DA16T) フルモデルチェンジ(11代目)**
フルキャブタイプのショートホイールベース仕様に統一
- 2014年ー 8月 ● **キャリイにAGS搭載車を設定し発売**
- 2018年ー 5月 ● **スーパーキャリイ 発売**
- 2019年ー 9月 ● **キャリイに軽トラック初※の夜間歩行者検知に対応した衝突被害軽減ブレーキを搭載して発売**
- 2021年ー 8月 ● **60周年記念車 発売**
- 2022年ー 4月 ● **キャリイに4AT車を設定して発売**
- 2023年ー 8月 ● **キャリイ、スーパーキャリイに車体色「モスグレーメタリック」を新たに採用**
- 2023年ー12月 ● **スーパーキャリイに特別仕様車「Xリミテッド」を設定して発売**
- 2024年ー 4月 ● **キャリイシリーズを一部仕様変更、キャリイ、スーパーキャリイにスズキ セーフティ サポートを標準装備**



キャリイバン、エブリイ、エブリイワゴン

- 1964年ー 9月 ● **スズライトキャリイバンFBD 発売(初代)**
キャリイFBをベースに車体後部をバン型とした。
定員4名で200kg積、定員2名で300kg積
- 1966年ー 1月 ● **スズライトキャリイバン(L20V) フルモデルチェンジ(2代目)**
- 1968年ー 3月 ● **キャリイバン(L30V) フルモデルチェンジ(3代目)**
荷室の広いキャブオーバー型を採用した
- 1969年ー11月 ● **キャリイバン(L40V) フルモデルチェンジ(4代目)**
- 1970年 ● **大阪万博でキャリイバン電気自動車が活躍**
- 1972年ー 8月 ● **キャリイバン(L50V) フルモデルチェンジ(5代目)**
新開発の水冷2サイクル2気筒リードバルブエンジンを採用
- 1976年ー 5月 ● **キャリイ55バン(ST10V) 発売**
- 11月 ● **キャリイワイドバン(ST20V) フルモデルチェンジ(6代目)**
- 1979年ー 6月 ● **キャリイバン(ST30V) フルモデルチェンジ(7代目)**
- 1982年ー11月 ● **キャリイバンをマイナーチェンジし、「キャリイバン・エブリイ」(ST40V)として発売**
- 1985年ー 3月 ● **エブリイ フルモデルチェンジ(8代目)**
エブリイ フルモデルチェンジ。エブリイに3AT車、ハイルーフ車を設定
- 1990年ー 3月 ● **エブリイの新規格車 発売**
- 1991年ー 4月 ● **エブリイシリーズ国内累計販売100万台達成**
- 9月 ● **エブリイ フルモデルチェンジ(9代目)**
- 1999年ー 1月 ● **エブリイ フルモデルチェンジ(10代目)**
- 6月 ● **エブリイワゴン 発売(初代)**
- 2005年ー 8月 ● **エブリイ フルモデルチェンジ(11代目)、エブリイワゴン フルモデルチェンジ(2代目)**
- 2006年ー11月 ● **エブリイシリーズ国内累計販売200万台達成**
- 2015年ー 2月 ● **エブリイ フルモデルチェンジ(12代目)、エブリイワゴン フルモデルチェンジ(3代目)**
- 2018年ー 6月 ● **エブリイシリーズ国内累計販売300万台達成**
- 2019年ー 6月 ● **エブリイ、エブリイワゴンの安全装備を充実させて発売**
- 2024年ー 2月 ● **エブリイ、エブリイワゴンの一部仕様変更、CVT車を新たに設定**



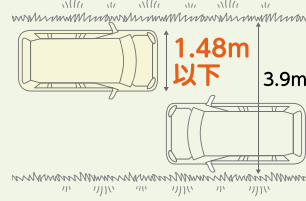
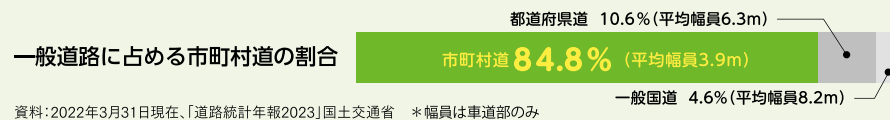
軽自動車の使いやすさ

コンパクトだから使いやすい

コンパクトで狭い道も快適！

日本の道路の約85%は、道幅平均3.9m^{*1}の狭い市町村道。車幅1.48m以下の小さい軽自動車なら、市街地の路地や農道もスムーズに。対向車とのすれ違いも安心です。

※1 一般道路全体の平均幅員は4.4m



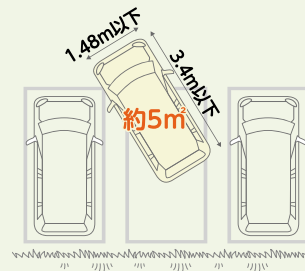
駐車もらくらくスムーズ！

軽自動車の最小回転半径は平均4.5m^{*2}。小回りがきくので、わずかなスペースでの駐車もらくにできます。また専有面積約5m²の省スペース性は、渋滞の緩和にもひと役かっています。

※2「自動車ガイドブック vol.70 2023～2024」日本自動車工業会のカatalogに掲載された軽乗用車の平均値

軽自動車の選択理由	(複数回答)	運転がしやすい	狭い道で使いやすい	駐停車がしやすい
使いやすさ	軽乗用系	69%	43%	34%
	軽キャブバン	32%	41%	10%
	軽トラック	58%	64%	13%

資料：「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会



出典：一般社団法人 日本自動車工業会 軽自動車委員会
 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会
 発行「知れば知るほどいいね！軽自動車」

軽トラ市のご紹介

「軽トラ市」が地域活性化に貢献しています。

「軽トラ市」とは、軽トラックで運んできた地場産の新鮮野菜などを軽トラックの荷台をそのまま店舗に見立て、対面販売する特設の市のことです。農・工・商が連携して地域を活性化するイベントとして日本全国で開催されています。安心・安全なものを求める消費者が増える中、野菜や果物、地域の特産品、加工食品、水産品、手工芸品等々、生産した人から直接買うことができる機会として定期開催も増えて来ています。



川南町 トロントロン軽トラ市



長野市 しののけ軽トラ市

地域の
魅力発信の
お手伝い！

私たちは、全国の「軽トラ市」を応援しています！

- 主催者は、地域の商工会が中心となっていますが、地域商店街による実行委員会や観光協会が中心となつて行われる例もあります。
- 開催規模は、軽トラック数台で開催する小規模なところから100台以上で開催する大規模なところまで様々。
- 岩手県雫石町の「元祖しずくしい軽トラ市」、愛知県新城市の「しんしろ軽トラ市 のんはいルット」、宮崎県川南町の「『定期朝市』トロントロン軽トラ市」は、全国でも有数な軽トラ市とされており、「日本三大軽トラ市」と呼ばれています。
- 「軽トラ市」にみられるように、軽自動車は地域にとっての交通手段に加え、重要な生活の道具でもあり、地域活性化にも大切な役割を果たしています。

軽自動車づくりで培われた高い技術は、世界で生産販売されるクルマにも活かされています。

スズキのインド子会社マルチ・スズキ社(当時はマルチ・ウドヨグ社)では、1983年より、日本で販売していた軽自動車「アルト」をベースに、横幅を広げて800ccのエンジンを搭載した「マルチ800」を生産し、ベストセラーとなりました。現在、インドでは年間約180万台の販売台数中、約1.5割はアルト、エブリイなど、軽自動車をベースとしたクルマです。また、パキスタンなどでも日本の軽自動車をベースとしたクルマが生産され、その国のモータリゼーションを進める原動力となってきました。私たちが軽自動車という規格の中で磨いてきた高い技術はこれらの国で生産する車に活かされているのです。また、それらの国で生産する車にも軽自動車と同じ部品が使われるなど、軽自動車はグローバル市場において成長発展してきた、世界に通用するエコカーと言えます。



マルチ800(アルト)

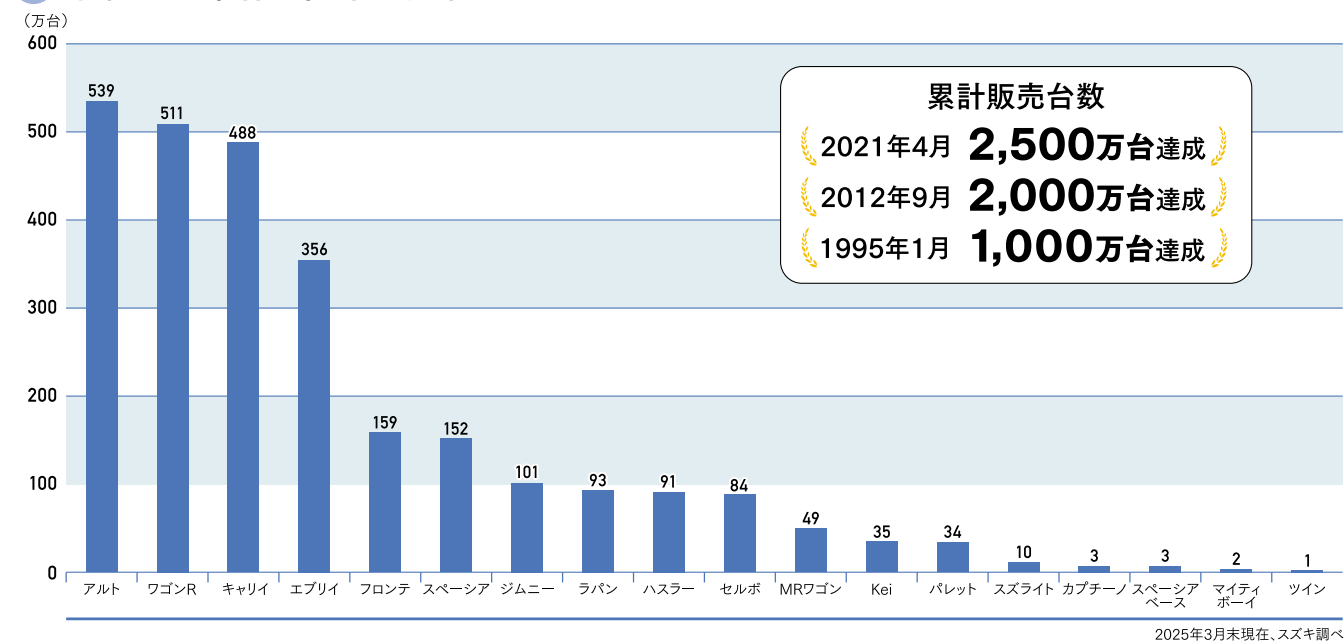
海外市場におけるスズキ軽自動車の展開例

軽自動車をベースとしたクルマ。()内はベースとなった軽自動車



スズキ軽自動車の累計販売台数

車種別の国内累計販売台数



おかげさまでミリオンセラー



	100万台達成		200万台達成		300万台達成		400万台達成		500万台達成	
	達成時期	達成年数	達成時期	達成年数	達成時期	達成年数	達成時期	達成年数	達成時期	達成年数
アルト	1985年6月	6年2ヶ月	1989年7月	10年3ヶ月	1994年8月	15年4ヶ月	2003年3月	23年11ヶ月	2016年12月	37年8ヶ月
キャリイ	1977年10月	16年1ヶ月	1987年6月	25年9ヶ月	1996年9月	35年	2010年1月	48年4ヶ月		
ワゴンR	1999年3月	5年7ヶ月	2003年12月	10年4ヶ月	2008年6月	14年10ヶ月	2013年9月	20年1ヶ月	2023年11月	30年3ヶ月
エブリイ	1991年4月	26年8ヶ月	2006年11月	42年3ヶ月	2018年6月	53年10ヶ月				
フロンテ	1975年	14年								
スペーシア	2021年4月	8年2ヶ月								
ジムニー	2025年1月	54年11ヶ月								

軽自動車は、日々のみなさんの
介助もサポートしています。

スズキ福祉車両

WITH シリーズ

ウィズシリーズ

車いす移動車

昇降シート車



スペーシア 車いす移動車

エブリイワゴン 車いす移動車

エブリイ 車いす移動車

ワゴンR 昇降シート車

ワゴンR カスタムZ 昇降シート車

SUZUKI Safety Support

スズキの予防安全技術

毎日の安心と、クルマの楽しさを支える。

スズキの安全技術

基本
安全

予 防
安全

衝突
安全

スズキの安全技術、それは、乗る人の毎日を想い、小さなクルマで大きな安心を届ける技術。

前方・後方の視界をしっかりと確保するための大きな窓や視認性の高いディスプレイ、
操作しやすいスイッチ類など、誰もが安心して乗れる運転のしやすさを考えた基本安全。

ヒヤリとする一瞬までも最小限に抑え、

事故そのものを未然に防ぐ予防安全技術「スズキ セーフティ サポート」。

衝撃吸収ボディをはじめ、万一の衝突被害を軽減する衝突安全。

培い続けてきた安全技術の数々が、いつも、毎日の安心につながっていること。

小さなクルマに、大きな安心をのせて。

スズキは、人とクルマの楽しい毎日を支え、事故のない未来に向けて走り続けます。

ドライバーの安全運転を、さまざまな技術でサポート

「ぶつからない」をサポート <衝突被害軽減ブレーキ>

「運転操作の軽減」をサポート

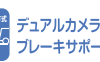
「標識を見逃さない」をサポート



デュアルセンサー
ブレーキサポートII



デュアルセンサー
ブレーキサポート



デュアルカメラ
ブレーキサポート



後退時
ブレーキサポート



低速時
ブレーキサポート
(前進・後退)



アダプティブクルーズ
コントロール (ACC)



標識認識機能



「前に飛び出さない/後ろに飛び出さない」をサポート



「バック時の安全確認」をサポート



「見やすい情報表示」でサポート



「車線中央付近の走行維持」をサポート



「夜道の見やすさ」をサポート



「車線をはみ出さない/ふらつかない」をサポート



「出遅れない」をサポート



「車線変更時の側方確認」をサポート



「見えない場所の境界」をサポート



「車線逸脱抑制機能」



「車線逸脱抑制機能」



「車線逸脱抑制機能」



「車線逸脱抑制機能」



「車線逸脱抑制機能」



「車線逸脱抑制機能」



「車線逸脱抑制機能」



<デュアルセンサーブレーキサポートII・デュアルセンサーブレーキサポート・デュアルカメラブレーキサポート・後退時ブレーキサポート・低速時ブレーキサポート(前進・後退)について>
■運転支援を目的としています。■検知性能・制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。■状況によっては正常に作動しない場合があります。■対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合があります。■ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行なっているときは、作動しない場合があります。■ご注意ください項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。

*各機能の作動には一定の条件があります。詳しくはスズキホームページ内、該当のページをご覧ください。

*各機能は車種・グレード・仕様により異なります。詳しくは各車種のカatalogをご覧ください。

*掲載の機能は2025年6月時点のものです。

ラインアップ
(一部の車種を掲載)

軽乗用車

軽商用車



	アルト	エブリイワゴン	ジムニー	スペーシア	ハスラー	ワゴンR スマイル	スペーシア ベース	エブリイ	キャリイ
衝突被害軽減ブレーキ※1	DCBS	DCBS	DSBS	DSBSII	DCBS	DSBSII	DCBS	DCBS	DCBS
低速時ブレーキサポート(前進・後退)				○		○			
後退時ブレーキサポート	○	○			○		○	○	
誤発進抑制機能	前後	前後	前	前後	前後	前後	前後	前後	前後 ※2
車線逸脱抑制機能				○	○	○			
車線逸脱警報機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふらつき警報機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アダプティブクルーズコントロール				(全車速追従)	(全車速追従)	(全車速追従)	(全車速追従)		
標識認識機能	○		○	○	○	○			
ヘッドアップディスプレイ	○					○			
ハイビームアシスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○
先行車発進お知らせ機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全方位モニター用カメラ	○			○	○	○	○		
車線維持支援機能				○		○			

※1 DSBS IIは、デュアルセンサーブレーキサポートIIの略称です。DSBSは、デュアルセンサーブレーキサポートの略称です。DCBSは、デュアルカメラブレーキサポートの略称です。

※2 キャリイシリーズは、「ブレーキ制御付後方誤発進抑制機能」となります。

軽自動車・登録車の年度別・都道府県別 届出台数・登録台数の比率

日本の自動車販売台数において、軽自動車の占める割合は2024年度で35.6％となっています。(表1) これを都道府県別に見てみると、1つの県で軽自動車の比率が5割を超えています。(表2) また、都道府県別の普及台数(表3)を見てみると、100世帯あたりの軽自動車の普及台数は全国平均で52.4台となっており、2世帯に1台は軽自動車を持っている、という結果になっています。この中でも、長野県では1世帯に1台持っているという「一家に1台」という状況になっています。100世帯あたり90台以上という県も8県あります。逆に東京都、神奈川県、大阪府などの大都市を持つ県では普及台数が少なくなっており、公共交通機関が利用しにくい地域では、軽自動車は生活に欠かせない移動手段となっていることがわかります。軽自動車は日本の道がつくってきたクルマであり、その必要性は年々高まってきています。

〔表1〕 軽四輪・登録車の届出・登録台数推移(1970～2024年度)

年度	軽四輪		登録車		軽＋登録車		軽四輪比率
	台 数	前年比	台 数	前年比	台 数	前年比	
1970(S.45)	1,234,822	105.6%	2,859,847	102.6%	4,094,669	103.5%	30.2%
1971(S.46)	1,043,698	84.5%	2,969,393	103.6%	4,013,091	97.8%	26.0%
1972(S.47)	996,144	95.4%	3,636,264	121.9%	4,632,408	115.0%	21.5%
1973(S.48)	902,911	90.6%	3,696,827	102.1%	4,599,738	99.6%	19.6%
1974(S.49)	692,554	76.7%	3,335,547	90.3%	4,028,101	87.6%	17.2%
1975(S.50)	565,576	81.7%	3,638,849	109.1%	4,204,425	104.4%	13.5%
1976(S.51)	670,895	118.6%	3,536,114	97.2%	4,207,009	100.1%	15.9%
1977(S.52)	674,359	100.5%	3,555,711	100.6%	4,230,070	100.5%	15.9%
1978(S.53)	756,715	112.2%	4,114,249	115.7%	4,870,964	115.2%	15.5%
1979(S.54)	888,531	117.4%	4,300,203	104.5%	5,188,734	106.5%	17.1%
1980(S.55)	1,061,232	119.4%	3,934,482	91.5%	4,995,714	96.3%	21.2%
1981(S.56)	1,255,912	118.3%	3,911,603	99.4%	5,167,515	103.4%	24.3%
1982(S.57)	1,379,641	109.9%	3,954,510	101.1%	5,334,151	103.2%	25.9%
1983(S.58)	1,419,788	102.9%	4,034,845	102.0%	5,454,633	102.3%	26.0%
1984(S.59)	1,489,934	104.9%	3,994,200	99.0%	5,484,134	100.5%	27.2%
1985(S.60)	1,551,179	104.1%	4,022,428	100.7%	5,573,607	101.6%	27.8%
1986(S.61)	1,632,035	105.2%	4,120,596	102.4%	5,752,631	103.2%	28.4%
1987(S.62)	1,684,605	103.2%	4,528,377	109.9%	6,212,982	108.0%	27.1%
1988(S.63)	1,771,879	105.2%	4,977,210	109.9%	6,749,089	108.6%	26.3%
1989(H.1)	1,606,386	90.7%	5,844,480	117.4%	7,450,866	110.4%	21.6%
1990(H.2)	1,902,721	118.4%	5,900,341	101.0%	7,803,062	104.7%	24.4%
1991(H.3)	1,750,297	92.0%	5,678,642	96.2%	7,428,939	95.2%	23.6%
1992(H.4)	1,610,418	92.0%	5,270,878	92.8%	6,881,296	92.6%	23.4%
1993(H.5)	1,582,127	98.2%	4,807,889	91.2%	6,390,016	92.9%	24.8%
1994(H.6)	1,643,039	103.9%	5,055,374	105.1%	6,698,413	104.8%	24.5%
1995(H.7)	1,726,850	105.1%	5,170,855	102.3%	6,897,705	103.0%	25.0%
1996(H.8)	1,729,990	100.2%	5,561,608	107.6%	7,291,598	105.7%	23.7%
1997(H.9)	1,533,077	88.6%	4,747,089	85.4%	6,280,166	86.1%	24.4%
1998(H.10)	1,660,689	108.3%	4,213,480	88.8%	5,874,169	93.5%	28.3%
1999(H.11)	1,908,701	114.9%	3,980,658	94.5%	5,889,359	100.3%	32.4%
2000(H.12)	1,861,016	97.5%	4,119,274	103.5%	5,980,290	101.5%	31.1%
2001(H.13)	1,844,940	99.1%	3,979,834	96.6%	5,824,774	97.4%	31.7%
2002(H.14)	1,824,748	98.9%	4,043,464	101.6%	5,868,212	100.7%	31.1%
2003(H.15)	1,861,231	102.0%	4,029,315	99.7%	5,890,546	100.4%	31.6%
2004(H.16)	1,880,989	101.1%	3,939,733	97.8%	5,820,722	98.8%	32.3%
2005(H.17)	1,948,362	103.6%	3,913,183	99.3%	5,861,545	100.7%	33.2%
2006(H.18)	2,030,616	104.2%	3,587,929	91.7%	5,618,545	95.9%	36.1%
2007(H.19)	1,893,043	93.2%	3,426,577	95.5%	5,319,620	94.7%	35.6%
2008(H.20)	1,808,877	95.6%	2,891,902	84.4%	4,700,779	88.4%	38.5%
2009(H.21)	1,698,191	93.9%	3,182,073	110.0%	4,880,264	103.8%	34.8%
2010(H.22)	1,628,787	95.9%	2,972,348	93.4%	4,601,135	94.3%	35.4%
2011(H.23)	1,688,937	103.7%	3,064,336	103.1%	4,753,273	103.3%	35.5%
2012(H.24)	1,972,600	116.8%	3,237,690	105.7%	5,210,290	109.6%	37.9%
2013(H.25)	2,261,834	114.7%	3,430,328	105.9%	5,692,162	109.2%	39.7%
2014(H.26)	2,173,131	96.1%	3,123,980	91.1%	5,297,111	93.1%	41.0%
2015(H.27)	1,813,328	83.4%	3,124,406	100.0%	4,937,734	93.2%	36.7%
2016(H.28)	1,719,970	94.9%	3,357,933	107.5%	5,077,903	102.8%	33.9%
2017(H.29)	1,858,875	108.1%	3,338,234	99.4%	5,197,109	102.3%	35.8%
2018(H.30)	1,922,999	103.4%	3,336,590	100.0%	5,259,589	101.2%	36.6%
2019(H.31)	1,855,967	96.5%	3,182,760	95.4%	5,038,727	95.8%	36.8%
2020(R.2)	1,757,748	94.7%	2,898,884	91.1%	4,656,632	92.4%	37.7%
2021(R.3)	1,554,971	88.5%	2,660,855	91.8%	4,215,826	90.5%	36.9%
2022(R.4)	1,692,689	108.9%	2,692,960	101.2%	4,385,649	104.0%	38.6%
2023(R.5)	1,625,481	96.0%	2,903,187	107.8%	4,528,668	103.3%	35.9%
2024(R.6)	1,627,412	100.1%	2,948,294	101.6%	4,575,706	101.0%	35.6%

(資料)軽四輪：全軽自協、登録車：自販連

〔表2〕 都道府県別 届出軽四輪比率(2024年度)

■・・・軽自動車の比率が50%以上の県(1県)

都道府県	2024年4月～2025年3月			
	軽四輪	登録車	合計	軽四比率
北海道	58,780	125,585	184,365	31.9%
青森	19,828	28,112	47,940	41.4%
秋田	17,792	21,391	39,183	45.4%
岩手	19,109	23,512	42,621	44.8%
山形	20,839	26,797	47,636	43.7%
宮城	28,903	54,435	83,338	34.7%
福島	27,453	42,744	70,197	39.1%
東北計	133,924	196,991	330,915	40.5%
茨城	39,979	76,120	116,099	34.4%
栃木	29,849	57,985	87,834	34.0%
群馬	35,983	64,050	100,033	36.0%
埼玉	83,639	162,614	246,253	34.0%
千葉	65,589	136,075	201,664	32.5%
東京	53,603	228,294	281,897	19.0%
神奈川	65,109	207,574	272,683	23.9%
山梨	14,527	19,951	34,478	42.1%
新潟	43,043	47,474	90,517	47.6%
関東計	431,321	1,000,137	1,431,458	30.1%
静岡	71,277	98,393	169,670	42.0%
愛知	105,220	246,458	351,678	29.9%
岐阜	38,807	58,271	97,078	40.0%
三重	36,702	53,398	90,100	40.7%
長野	42,485	50,284	92,769	45.8%
富山	17,954	26,205	44,159	40.7%
石川	19,260	30,895	50,155	38.4%
福井	14,662	22,116	36,778	39.9%
中部計	346,367	586,020	932,387	37.1%
滋賀	25,908	39,137	65,045	39.8%
京都	30,707	58,170	88,877	34.5%
大阪	68,415	182,888	251,303	27.2%
兵庫	62,256	125,327	187,583	33.2%
奈良	17,659	28,493	46,152	38.3%
和歌山	17,859	19,797	37,656	47.4%
近畿計	222,804	453,812	676,616	32.9%
香川	18,979	22,745	41,724	45.5%
徳島	12,269	15,887	28,156	43.6%
愛媛	22,080	27,642	49,722	44.4%
高知	12,796	13,210	26,006	49.2%
四国計	66,124	79,484	145,608	45.4%
鳥取	11,888	13,299	25,187	47.2%
島根	16,507	16,735	33,242	49.7%
岡山	37,363	47,360	84,723	44.1%
広島	45,568	72,686	118,254	38.5%
山口	27,387	36,692	64,079	42.7%
中国計	138,713	186,772	325,485	42.6%
福岡	68,168	131,739	199,907	34.1%
佐賀	15,867	17,387	33,254	47.7%
長崎	23,477	23,187	46,664	50.3%
熊本	31,828	39,677	71,505	44.5%
大分	22,275	26,333	48,608	45.8%
宮崎	18,366	23,030	41,396	44.4%
鹿児島	27,615	32,019	59,634	46.3%
沖縄	21,629	25,944	47,573	45.5%
九州計	229,225	319,316	548,541	41.8%
全国計	1,627,258	2,948,117	4,575,375	35.6%

(資料)軽四輪：全軽自協、登録車：自検協データに基づくスズキ調べ。

軽四輪保有台数・世帯当たり普及台数・運転免許保有者数

〔表3〕 都道府県別 軽四輪保有台数と世帯当たり普及台数

都道府県	軽四輪保有台数	世帯数	100世帯当たり台数	順位(前年順位)
北海道	1,208,621	2,809,828	43.0	40(40)
青森	458,223	593,591	77.2	28(28)
秋田	368,892	424,568	86.9	13(13)
岩手	459,145	534,717	85.9	15(16)
山形	410,454	422,118	97.2	5(5)
宮城	641,322	1,044,637	61.4	36(36)
福島	664,368	798,738	83.2	20(20)
茨城	975,775	1,314,563	74.2	31(31)
栃木	637,583	868,242	73.4	34(34)
群馬	721,402	881,107	81.9	22(23)
埼玉	1,435,808	3,511,768	40.9	43(43)
千葉	1,243,761	3,061,704	40.6	44(44)
東京	870,774	7,563,383	11.5	47(47)
神奈川	1,054,672	4,557,670	23.1	46(46)
山梨	344,270	374,238	92.0	7(7)
新潟	839,475	917,654	91.5	8(8)
静岡	1,212,478	1,644,355	73.7	32(32)
愛知	1,729,964	3,461,470	50.0	39(39)
岐阜	688,358	853,904	80.6	25(25)
三重	667,048	817,486	81.6	24(24)
長野	905,520	897,360	100.9	1(1)
富山	376,677	433,664	86.9	14(14)
石川	367,567	500,194	73.5	33(33)
福井	290,409	303,705	95.6	6(6)
滋賀	475,893	617,522	77.1	29(29)
京都	519,281	1,255,136	41.4	42(42)
大阪	1,199,380	4,512,354	26.6	45(45)
兵庫	1,109,919	2,615,161	42.4	41(41)
奈良	357,436	610,533	58.5	37(37)
和歌山	392,986	443,513	88.6	9(9)
香川	381,133	450,133	84.7	18(18)
徳島	299,221	338,837	88.3	10(10)
愛媛	519,559	657,416	79.0	27(27)
高知	299,519	349,119	85.8	16(15)
鳥取	240,590	241,006	99.8	2(2)
島根	290,198	293,776	98.8	3(3)
岡山	729,725	870,444	83.8	19(19)
広島	835,748	1,340,297	62.4	35(35)
山口	492,217	658,901	74.7	30(30)
福岡	1,374,120	2,544,108	54.0	38(38)
佐賀	339,965	346,110	98.2	4(4)
長崎	505,223	634,183	79.7	26(26)
熊本	669,334	810,872	82.5	21(21)
大分	448,083	548,601	81.7	23(22)
宮崎	467,886	533,052	87.8	12(11)
鹿児島	691,391	813,110	85.0	17(17)
沖縄	621,141	704,293	88.2	11(12)
全国計	31,832,514	60,779,141	52.4	-

(資料)保有台数は2025年3月末現在(スズキ調べ)。世帯数は2024年1月1日現在の総務省調べ。

〔表4〕 都道府県別 運転免許保有者数(2024年12月末現在)

都道府県	男性	女性	合計	男女比率	
				男性	

[illegible]

フロンテ800、カルタス、エリオ、SX4、スプラッシュ、キザシ、イグニス、バレーノ、クロスビー

1965年ー12月	● フロンテ800 発売		
1983年ー10月	● カルタス 発売		
1986年ー 6月	● マイナーチェンジ 1300ccクラス初のツインカム車 追加		
1988年ー 9月	● カルタス フルモデルチェンジ		
1989年ー 6月	● カルタス・セダン「エスティーム」 発売		
1992年ー 2月	● カルタス・コンバーチブル 発売		
1995年ー 1月	● カルタス・クレセント 発売		
1996年ー 2月	● カルタス・クレセント ワゴン 発売		
2001年ー 1月	● エリオ 発売		
11月	● エリオセダン 発売		
2006年ー 7月	● SX4 発売		
2007年ー 7月	● SX4セダン 発売		
2008年ー10月	● スプラッシュ 発売		
2009年ー10月	● キザシ 発売		
2015年ー 2月	● SX4 S-CROSS 発売		
2016年ー 2月	● イグニス 発売		
3月	● バレーノ 発売		
2017年ー12月	● クロスビー 発売		

スイフト・シボレークルーズ

2000年ー 2月	● スイフト 発売		
2001年ー11月	● GMとの共同開発車 シボレー「クルーズ」 発売		
2003年ー 6月	● スイフトスポーツ 発売		
2004年ー11月	● スイフト フルモデルチェンジ		
2005年ー 9月	● スイフトスポーツ フルモデルチェンジ		
11月・12月	● スイフトが2006年次 RJCカー オブ ザ イヤー(11月)、第26回2005 - 2006日本カー・オブ・ザ・イヤー特別賞『Most Fun』(12月)を受賞 🏆		
2010年ー 9月	● スイフト フルモデルチェンジ		
11月	● スイフトが2011年次 RJC カー オブ ザ イヤーを受賞 🏆		
2011年ー 1月	● スイフトが世界累計販売台数200万台を達成		
12月	● スイフトスポーツ フルモデルチェンジ		
2014年ー 8月	● スイフトが世界累計販売台数400万台を達成		
2017年ー 1月	● スイフト フルモデルチェンジ		
9月	● スイフトスポーツ フルモデルチェンジ		
11月	● スイフトが2018年次 RJC カー オブ ザ イヤーを受賞 🏆		
2020年ー 5月	● スイフト・スイフトスポーツの安全装備を充実して発売		
2023年ー12月	● スイフト フルモデルチェンジ		
2024年ー11月	● スイフトが2025年次 RJC カー オブ ザ イヤーを受賞 🏆		
12月	● スイフトスポーツ 特別仕様車「ZC33S Final Edition」 発売		

ジムニー・エスクード・X90・フロンクス

1977年ー10月	● ジムニー8 発売		
1982年ー 8月	● ジムニー1000 シリーズ 発売		
1984年ー11月	● ジムニー1300 シリーズ 発売		
1988年ー 5月	● エスクード 発売		
1990年ー 9月・10月	● エスクード ノマド(9月)・レジントップ(10月) 発売		
1993年ー 5月	● ジムニー1300 シェラ 発売		
1995年ー10月	● X-90 発売		
1997年ー11月	● エスクード フルモデルチェンジ		
1998年ー 1月	● ジムニーワイド 発売		
2000年ー12月	● エスクードシリーズを一部改良、グランドエスクードを発売		
2002年ー 1月	● ジムニー シェラ 発売		
2005年ー 5月	● エスクード フルモデルチェンジ		
2015年ー10月	● エスクード(1600cc) 発売		
2017年ー 7月	● エスクード1.4ターボ 発売		
2018年ー 7月	● ジムニー シェラ フルモデルチェンジ		
10月	● ジムニー、ジムニー シェラが「2018年度グッドデザイン金賞」を受賞 🏆		
2024年ー10月	● フロンクス 発売、フロンクスが2024-2025日本カー・オブ・ザ・イヤー「10ベストカー」に選出		
2025年ー 1月	● ジムニー ノマド 発売		

ワゴンRワイド/+ (プラス)/ソリオ、エブリイ+ (プラス)/ランディ、ソリオ、シボレーMW、ランディ

1997年ー 2月	● ワゴンRワイド(1000cc) 発売		
1999年ー 5月	● ワゴンR+ (プラス)(1000cc) 発売		
6月	● エブリイ+ (プラス) 発売		
2000年ー12月	● ワゴンRソリオ(1000cc・1300cc) 発売		
2001年ー 5月	● エブリイ ランディ 発売		
2006年ー 1月	● コンパクトワゴン「シボレー MW」 発売		
2007年ー 1月	● ランディ 発売		
2010年ー12月	● ランディ フルモデルチェンジ		
2011年ー 1月	● ソリオ フルモデルチェンジ		
2012年ー 6月	● ソリオにソリオ バンディットを設定して発売		
2015年ー 8月	● ソリオ、ソリオ バンディット フルモデルチェンジ		
2016年ー12月	● ランディ フルモデルチェンジ		
2020年ー12月	● ソリオ、ソリオ バンディット フルモデルチェンジ		
2022年ー 8月	● ランディ フルモデルチェンジ		

1958

2014

1994

2014

2003